

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 北斗地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（北斗市「田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

北斗市における河川は、すべて函館湾に注ぐ河川である。近年では流域市町は連携し水質浄化のための施策と生態系に優しい親水性豊かな河川改修を進めている。

【課題】

北斗市の主要河川は過去において、住居地帯及び農用地等に洪水被害をもたらすとともに、土砂流出により函館海域の水質汚濁の原因となっている。そのため、河川改修事業による改善と併せて、親水機能や自然形態に配慮し恵み豊かな環境の保全が求められている。

《環境保全の基本的考え方》（北斗市「田園環境整備マスタープラン」より）

親水機能や景観性の整備促進、自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した河川や農業用排水路の改修を進める。

2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

《基本方針》

○ 調査位置の考え方

用水路（管水路）の新設は、主に道路沿いに配置し、一部区間で山林区間を縦断する。このため、整備ルートの一部が山林区域を縦断する上磯ダム第2補給水路を地区の代表路線として調査を実施する。

○ 調査項目の考え方

既往調査結果の活用を基本とする。
整備に伴い生育・生息環境に直接影響を与えることが想定される哺乳類、鳥類、両生類・は虫類、昆虫類、底生動物及び植物について現地調査を実施する。

《環境調査内容》

○調査項目 ①哺乳類 ②鳥類 ③両生類・は虫類 ④昆虫類 ⑤底生動物
⑥植物

○調査方法
哺乳類：目撃法、フィールドサイン法
鳥類：ラインセンサス法、ポイントセンサス法
両生類・は虫類：目撃法
昆虫類：任意採集法、ベイトトラップ
底生動物：定性採集法
植物：植物相調査